

Caux Foundation 創設80周年記念プログラム

公式 Media Advisory (参考日本語訳)

本資料は、Caux Foundationが2026年7月13日に発表した公式Media Advisoryの参考日本語訳です。
英語原文を正本とします。

MEDIA ADVISORY

大阪・関西万博から生まれた取り組みが、若者たちの歌声をCaux Palaceへ

スイス・Caux、2026年7月13日

2026年7月20日（月）、一般社団法人Feel&SenseとCaux Foundationは、2025年大阪・関西万博とのつながりの中で発展した国際プログラム「INOCHI WORLD PROJECT」を共同で実施します。

本プロジェクトには、日本、スイス、ドイツの若者たちが参加し、音楽、映像、対話を通して、「いのち」と記憶の意味について考えます。

プログラムは、Caux Palaceで行われる夜の公演へとつながります。若者たちは、76年前にCauxでスイスの歌手と日本からの訪問者が音楽を分かち合った歴史的な場面に呼応する楽曲を披露します。

報道関係者の皆様には、当日のプログラムおよび夜の公演をご取材いただけます。

本プログラムは、Caux Foundation創設80周年記念プログラムの一環として、神戸を拠点とする日本の団体Feel&SenseとCaux Foundationによって共同で実施されます。

また、本プロジェクトは、在スイス日本国大使・飯島俊郎氏から公式な支持を受けています。

Cauxで開催される意義

Cauxという場所を選んだことには、特別な意味があります。

第二次世界大戦後、Caux Palaceは、かつて敵対していた人々が対話のために集い、和解に向けて取り組む場所となりました。1950年には、広島市長、長崎市長を含む日本代表団がCauxを訪れ、こうした和解への取り組みを直接目にしました。

当時の記録映像には、スイスの歌い手たちと日本からの訪問者たちが、音楽をともに分かち合う姿が残されています。この日本代表团には、後に日本の内閣総理大臣となる、若き日の中曽根康弘氏も参加していました。

76年後となる今回、モントルー、日本、ドイツの若者たちの歌声によって、その記憶が再び現代によみがえります。

Caux Foundationエグゼクティブ・ディレクターのIgnacio Packer氏は、本プロジェクトについて次のように語っています。

「これは、再び築かれた信頼と、再び架けられた橋の物語です。」

Feel&Sense共同代表理事の橋本さやか、橋本昌彦は、次のように語っています。

「子どもたちは、大人たちに『いのち』の意味を教えてくれています。
日本には、自然や人とのつながりの中で、いのちを大切にし、互いに支え合い、次の世代へ受け渡していく感性があります。私たちは、芸術と音楽を通して、この感性を世界の人々と分かち合い、国や文化を越えて、いのちの尊さをともに感じられる場を創りたいと願っています。」

プログラム

報道関係者の皆様には、当日のプログラムをご取材いただけます。また、終日、インタビューの機会が設けられます。

10:00

Caux Palaceにおける若者たちとの午前プログラム

日本、スイス、ドイツの若者たちが、「いのち」と平和をテーマとしたプログラムに参加します。

若者たちの気づきや思いは、その後、夜の式典の中でも発表される予定です。

日中

報道関係者による取材・インタビュー

報道関係者は、当日のプログラムを取材し、参加する若者たち、プロジェクト創設者である橋本さやか・橋本昌彦、Caux Foundation関係者へのインタビューを申し込むことができます。

20:00

Caux Foundation創設80周年記念行事の開幕を飾る

「LIFE／INOCHI」中心プログラム

会場は、歴史あるCaux Palaceの劇場です。

本プログラムは、2025年大阪・関西万博とのつながりの中で、約6,000人の観客を前に初めて上演されました。

約50分間の舞台プログラムは、以下の内容で構成されます。

- ・映像作品『LIFE®いのち』の上映
- ・橋本昌彦による生朗読および歌唱
- ・日本、ドイツの子ども・若者と、リヴィエラ地方のユース合唱団「L'As de Choeur」による『INOCHI』の合同演奏
- ・子どもたちによる「いのちの宣言」
世界に向けて、いのちと平和へのメッセージを届けます。

7月21日のプログラム

7月21日（火）、若者たちはMOBとの連携により、MOBパノラマ列車でロシェ・ド・ネイユへ向かいます。山頂では、万博で発表されたいのち会議テーマソング『INOCHI』をアカペラで歌う予定です。

これは、Cauxでのプログラムを通してよみがえった歴史的な音楽の出会いを、象徴的に未来へつないでいくものです。

報道関係者の皆様へ

報道関係者の皆様には、7月20日のプログラムをご取材いただけます。

10:00 Caux Palaceでの午前プログラム

20:00 夜の公演

参加する若者たち、Feel&Sense共同代表理事の橋本さやか・橋本昌彦、Caux Foundation関係者へのインタビューも可能です。

また、7月21日のロシェ・ド・ネイユへの訪問にも同行取材いただけます。

英語版リリース、写真、映像資料を含むプレスキットは、ご要望に応じて提供します。

取材申請およびインタビューのご依頼は、Olivia Cholletまでご連絡ください。

Olivia.Chollet@caux.ch

INOCHI WORLD PROJECTについて

INOCHI WORLD PROJECTは、2025年大阪・関西万博とのつながりの中で始まった国際的な文化プロジェクトです。

映像、音楽、芸術、教育、国際交流を通して、世界各地で「INOCHI=いのちの神秘」を感じる体験を創り出しています。

人と人、人と自然、そして未来の世代をつなぐことを目指しています。

Feel&Senseについて

一般社団法人Feel&Senseは、神戸を拠点とする日本の団体です。

「芸術は、人と人、人と自然、人と世界をつなぐことができる」という信念のもと、映像、音楽、芸術、教育、国際交流にわたるプロジェクトを展開しています。

Feel&Senseは、2025年大阪・関西万博において『LIFE®いのち』を発表しました。

<https://www.feelandsense.co/>

Caux Foundationについて

Caux Foundationは、Initiatives of Change Internationalのメンバーであり、モントルーを見下ろす歴史的建造物Caux Palaceを拠点とするスイスの財団です。

1946年に設立され、対話、和解、信頼を通して、社会およびシステムの変革への道を開く場を提供しています。

会議、研修プログラム、セミナー、文化イベント、対話の場を通じて、多様な背景を持つ人々を結び、違いを乗り越え、信頼を築き、倫理的なリーダーシップを育む活動を行っています。

www.caux.ch

メディアお問い合わせ先

Olivia Chollet

Communications and Events Coordinator
Caux Initiatives of Change Foundation

電話：+41 (0) 79 422 34 31

メール：Olivia.Chollet@caux.ch